

社会福祉法人 北海長正会 59 ISSUE

四恩園



こころ
・からだ
・つながり

二〇二五年度 事業方針

社会福祉法人 北海長正会 理事長 三瓶 徹

今年度は法人事業の 持続的イノベーションを考える年

一・地域の幸せを創造する 拠点として

法人は来年五十周年を迎えます。今年度は、これまでの半世紀を振り返り、これからの半世紀に向け法人としての持続的イノベーションを考える年です。法人は地域の幸せを創造する拠点として、今年度は五つの大きな方針を立てました。

① 超高齢化の団地地区に 求められる法人の力量

現在、団地の約半数が高齢者で、後期高齢者が三人に一人でフレイルによる身体機能の低下による病気やケガのリスクが高くなり、独居高齢者の孤独・孤立化など益々法人の力量が求められます。

② 障害を抱える人の 自立支援と地域移行

在宅における知的及び精神疾患を有

する人が増加しております。地域とのつながりを育て、相談業務やケアの質の向上を図り、障害を抱える人の地域移行や自立支援に努めます。

③ 大規模修繕を機に サービスの在り方を振り返る

施設の大規模修繕を機に、サービスを振り返り、質の向上と働きやすい職場に変えていきます。ＩＴ化など機器の進化が目覚ましく、それらの活用でお客様の喜びや幸せにつながる大規模修繕を目指します。

④ 健康寿命延伸や 孤立・孤独対策に向けた取り組み

フィットネス事業で心と体と社会とのつながりを大切に健康寿命の延伸に貢献します。また、障害者施設の空き室をサービス付き高齢者向け住宅に転用し独居高齢者の孤独・孤立への対策として貢献します。

⑤ 地域共生社会の実現に向けた 三位一体の取り組み

地域共生社会の実現には住民、行政、事業者の三位一体の取り組みが欠かせません。特に、住民の力として市民スタッフの活動はこの地域を支えていく大きな力です。「住民一人ひとりが自ら選択する方法でつながりを持ち、参加が可能となる環境を整え」幸せを感じられる風土づくりに努めていきます。

二・ウェルビーイングとしての フィットネス事業の創設

後期高齢者の フレイルが課題！

私たちの事業は全人的（身体的・精神的・社会的）な視点をもっておりお客様に関わることが求められております。これまで高齢者や障害者制度で対象となるお客様にサービスを提供してきましたが、介護保険の対象となる方は高齢者の二割弱であり約八割はサービスを利用されていない方々です。超高齢化社会にあって身体機能が低下する後期高齢者のフレイルが課題となっております。健康を良好な状態で保つためにはご自身の身体状況を理解しそれを維持するための運動や社会的な関りは欠かせないものです。

北広島市企業版ふるさと納税による フィットネス事業の創設！

これからの事業として制度対象者に限らず全ての住民を対象とするフィットネス事業を創設します。法人は介護予防の視点から超高齢化する団地住民の健康寿命の延伸について模索してまいりました。はからずも国の補助による生涯現役地域づくり環境整備事業で地域の方々によるワークショップを行ったとき、もっとも多数を占めた要望がフィットネスでした。その整備事業の協議会から当法人にフィットネス事業創設に向けた依頼がありました。北広島市の企業版ふるさと納税の補助金で二〇二六年四月の開業に向け準備を進めることとなりました。

皆で楽しく幸せに 健康寿命の延伸を！

当法人のフィットネス事業では、お一人お一人の身体状況を理解しそれに応じたフィットネスを提案するとともに、人と人のつながりを大切に楽しく活動できるように工夫していきます。利用されるお客様で趣味を同じくする人のサークルやイベントの開催、健康介護、終活などについて相談や講座・講演を行います。ともにやふれての地域交流事業とも連携し「楽しく」「幸せに」をキーワードに健康寿命の延伸を図っていきます。

人生100年時代を楽しむために 『健康』が一番！ 北広島の健康寿命延伸！ 心と体をつなぐ コミュニティフィットネス

2026年
4月
OPEN!
予定



つながりを育むフィットネス

地域住民の皆さんへ、新しいフィットネスプログラムのご案内です。運動と人とのつながりを同時に育む取り組みを始めます。

健康的な体と豊かな地域コミュニティを一緒に作りましょう。どなたでも参加できる場をご用意しています。単なる運動施設ではなく、心と体の健康を育み、世代を超えたつながりを生み出す場所を目指します。

●運動

セミパーソナルトレーニング

あなたの「～したい！」を叶えるボディメイクプログラム！

●学び

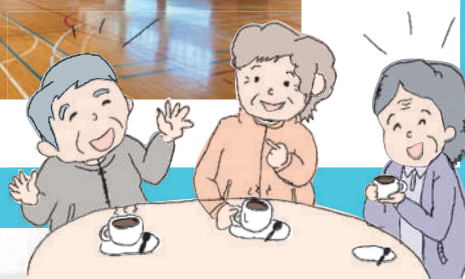
専門職によるミニ講座（栄養・睡眠・生活改善等）を開催

●交流

運動後に喫茶コーナーで歓談

仲間と一緒に継続！

新しい友達と一緒に楽しく続けることで、健康と絆が同時に育まれます。



「地域の幸せを創造する拠点として、ウェルビーイングを描く」

～2025年 四恩園 各事業所の事業計画～

地域サポートセンター四恩園

北広島市富ヶ岡509番地31



特別養護老人ホーム

入所時から終末期までの関わりにおいて私達も共に寄り添います

専門職の連携

四恩園の入所時から終末期まで、優しい丁寧な対応、個別に配慮した「生ききる支援」を基本理念に照らし多職種連携・医療連携を実施し、お客様の居心地と安全な生活環境づくりを目指します。

技術向上と機器の活用

お客様、職員双方にとって生活の中に楽しみ発見、丁寧な日常ケア、権利擁護に向けた認知症ケア、終末期ケアに努め、職員の介護技術向上と適切な福祉機器を活用した生活空間の提供を目指します。

お客様にとって必要なケア実現のためにも最新機器情報を確認、検討、修正改善に取り組み、時代に応じた機器活用と導入を目指します。

(清水 孝修)



デイサービスセンター四恩園

お客様、ご家族、職員、みんなが元気に幸せになれるデイサービスを作っていこう

四恩園デイのファンを増やしたい

私たちは相談・受入れ機能の強化と、デイサービス内外の連携協力体制の充実を図ります。そして見学や体験で繋がった方々とのご縁を大切に、楽しい時間を過ごして頂き、本利用へと繋がります。気持ちの良い丁寧な対応を心がけ、一人ずつ四恩園デイのファンを増やし、その想いを大切にするをお約束します。

お客様のやる気・元氣・活気を引き出したい

私たちは認知症や障がいにより要介護状態にあっても、住み慣れた地域で暮らし続けられるようご家族や関係機関との繋がりを大切にします。お客様の社会参加を支援し、楽しみながら心身機能が維持できるサービスを提供します。関係職種（介護・看護・リハビリ）の連携を深め、最新福祉機器や先進的取り組みも視野に入れ多様なニーズに応えていきます。

いきいきしている職員が働くデイサービスに

私たちは明るい笑顔と優しく丁寧な言葉と態度でお客様に安心を届けます。それを土台に「行ってみよう」「やってみよう」が形になるような活発な職場を目指します。その実現に向け、職員一人ひとりの対話を深め、ストレスマネジメントに取り組み心身の健康を保ちます。(長谷川 智彦)



デイホームさとみ

お客様が自分らしくあるために寄り添い続けるさとみ

サービスの質向上に向けて

一軒家、少人数、個別に対応できるデイサービスを生かした活動を皆様と一緒に考えていきます。基本理念に促したサービスの実践、チームワーク、お客様に真摯に向き合う姿勢を常に心がけ、お客様の「行きたい。食べたい。楽しみたい。」といった声の満足度につながるよう取り組みます。

人材の定着、地域とのつながり

職員のより良いコミュニケーション作り、年齢を問わず生涯現役で働ける優しい環境づくりで、働きやすい楽しい職場を目指します。「心のゆとり」が職員、お客様の笑顔を生みます。地域との交流つながりとして、さつまいも開催されている「お茶の間」、地域のお祭り等の協力、参加を継続します。

施設の環境整備

お客様の健康・安全を守り、快適な環境で過ごせるよう、また、地域の中にある一軒家として、町内にとけこむ施設で在るよう努めます。

(深田 なつ恵)



地域交流ホームふれて

北広島市白樺町1丁目8番地2



地域交流ホームふれて

地域住民の笑顔が増える「公益的な取り組み」を目指し、明るい未来を次の世代へつなぎます

つながりが生み出す笑顔

市民スタッフが主体となって運営している喫茶コーナーでは毎日地域の方がコーヒーを飲みながら談話をしています。人と人のつながりが生み出す「笑顔」がまた次のつながりをつくっています。いきいき百歳体操、ボッチャ、ミニ講座、子ども食堂、また季節のイベントもみんなで大いに盛り上がっています。

一歩前へ踏み出す力

「人と人とのつながりから生きることの喜びを知ろう」をスローガンの元、地域交流ホームふれては開設十五年目に入りました。人生一〇〇年時代を生きぬくために必要な力の一つが「前に踏み出す力」だそうです。この地域でいつまでも幸せに暮らし続ける

ように、世代や

障がいを超え手

を取り合い、更

に一歩前へ踏み

出すことができ

るよう活動を続

けていきます。

(小野崎ひとみ)



デイホームかたる

更なる高みを目指して

より多くのお客様へご利用頂くために

一日の定員と照らし合わせより多くのお客様にご利用頂けるよう、新規受入の相談機能を充実させていきます。一人でも多くのお客様が「ここに通って良かった」と思って頂けるよう力を入れていきます。

お客様満足度向上サービスの実践

二〇二五年度よりサービス提供時間の短縮を行い、より内容の濃いサービス提供に努めると共に、過ごし方のバリエーションも幅広く、さまざまな楽しみ方を味わっていただける「かたる特化型メニュー」を創出します。

チームワークの向上

前年度以上に職

場内コミュニケーションの場を多く

持てるよう、個別・

集団などさまざまな形で話し合える

場を作り、お客様

へ提供するパフォー

マンスを職員が最

大限発揮できる

チーム作りを行います。

(林 晃市)



みなみ高齢者支援センター

住み慣れた地域で暮らすために、地域住民・関係機関、市民スタッフ等と連携し、楽しいから始める地域活動の場づくりに力を入れます

地域住民が楽しみながら

社会参加が出来る活動の取り組み

楽しみながら体を動かす「ボッチャ」「モルック」等のニュースポーツをふれてから団地地区全体に拡げていきたいと思っています。ニュースポーツで集まり、体を動かすことで地域の輪を広げていきます。

高齢者とご家族を支えるために、

地域の行方不明者ゼロのまちに

毎年、団地地区でも行方不明者の方がおられます。地域の力で発見できる仕組みとして、市役所と連携し、SOSネットワーク登録者一、〇〇〇人を目指したいと思っています。また、模擬訓練を開催し、地域の皆さんで考え、安心できるまちづくりを進めていきます。

(吉田 忠司)



地域サポートセンターともに

北広島市緑陽町1丁目2番地



地域サポートセンターともに

みんな目指す、
持続可能なウェルビーイング！

フィットネス事業開始までの
準備期間として

二〇二六年四月よりフィットネス事業をスタートします。体育館を活用し、セラピストを配置した全世代型のフィットネス事業です。この取組は、介護保険制度外の独自事業として要介護状態になる前からのウェルビーイングの状態を目指し継続する実践であると共に、趣味特化によるつながりづくりを目的として、この一年間を事業開始準備期間とします。

ワクワクと面白がり力を発揮

ともに市民スタッフ等による活動の継続、生涯現役地域づくり環境整備協議会から生まれたドックランや北広島産木材を活用したトーチづくりなどにおいても、三位一体となったマンパワーによる共生の理念の基にワクワクと面白がり力を発揮しながら取り組みます。

※ウェルビーイング…個人や社会のよい状態。健康と同じように日常生活の一要素であり、社会的、経済的、環境的な状況によって決定される。
〔世界保健機関(WHO)より〕

(向山 篤)



複合型サービス

大切に丁寧に関わり
安心できる空間に

毎日提供させていただくケアこそ
大切に丁寧に関わりたい

「美味しい」と感じていただける食事、「気持ち良い」と感じていただける入浴、「心地良い」と感じていただける排泄ケアを目指します。その日、その時のお客様の心身状況に合わせて、最高のケアを提供します。

根拠ある「認知症ケア」を実践します

認知症のお客様も多くご利用いただいています。私たちの関りで、その不安を少しでも緩和できるように、お客様のその時の困り事に寄り添いながら一緒に考え行動し、安心して過ごしていただける時間を共有していきます。

丁寧な言葉遣いを徹底します

法人の基本理念の一つ「信頼は接し方から」。職員一人ひとりが常に意識することで、お客様の笑顔につながるはず。おはようからおやすみまで、お客様の元々、みなで笑いながら過ごせる空間を目指します。

(奥山 智直)



サービス付き高齢者向け住宅しおん

安心して「ともに生きる」住まいへ

つながりを大切に

ご家族、他のお客様、地域の皆様とのつながりを大切にし、交流の機会を増やすことで、お客様が自分らしさと生きがい、充実した毎日を感じられる環境を整えます。

健康状態の見える化と自立支援

健康状態の見える化、各種体操や行事の実施、医療・介護サービスとの連携により、お客様の自立を支援します。体調変化の把握と健康の維持向上に向けた取り組みを強化します。

安心・安全な住環境の維持

感染対策や生活支援を徹底し、安全快適な住まいを維持します。建物の管理や職員研修に力を入れ、お客様が安心して暮らせる環境を維持します。

「ともに生きる」住まいへ

お客様が「支えられる存在」ではなく、「ともに生きる存在」として、自分で選択し行動することを支え、豊かで笑顔あふれる住まいを目指します。

(玉田 亜矢)



ホームヘルプサービスステーション

地域にホームヘルパーを増やしたい！
近未来に思いをのせて

在宅介護における

ホームヘルパーの専門性を高め、

新人ヘルパーの獲得と育成をします

ホームヘルパーの魅力を地域に伝え、ヘルパー人員を増やすことに取り組みます。介護体験会などの取り組みを行います。在籍しているヘルパーは介護経験十年以上選手がほとんどです。新しい風を取り込みながら、活性化したヘルパーステーションになれるように取り組みます。

地域密着サービスや訪問介護サービスを

利用されている方が地域のつながりを感じ
住みやすい環境作りに参加します

一人で外出方
のサポートを行
い地域の活動参
加を個別支援で
します。

(古永 美香)



訪問看護ステーション

心身ともに元気を目指す、
身近なホームナースステーションを
目指します

在宅医療と連携を強化、

個々の思いを尊重した生き方を大切に、

より良く生きるを支援します

ACP（アドバンスケアプランニング）に取り組み、一人一人の人生を大事に「今をより良く生きる」ことを支援します。在宅リハビリテーションを取り入れ、個別で外出ができるような取り組みをします。

地域の健康をささえる活動に取り組みます

北広島市内で普及している「エルフィンバトン」の活用を広げるために、定期的に整備をする活動を行います。救急要請した時の医療情報を速やかに伝えることで緊急時対応が滞りなくできることを目指します。また、制度外で看護師やリハビリ職員が活動可能にするための自費サービスのニーズに応えていけるように整備をします。

(古永 美香)



居宅介護支援事業所

つながり続ける事を創造して

私たちケアマネジャーは、法人の理念「ノーマライゼーション」「自立支援」や共生の理念に沿って、社会的に孤立した「助けを求められない、求めない」人に関わり続け、その人が抱えている問題解決とあわせて、つながり続けることを目的とした関係を形成する「伴走型支援」を大切にします。同時に、多様な生き方の人がつながれる様々なつながり先を地域に創造する働きかけを大切に、以下の実践を行います。

- 一. 判断能力が低下した人への意思決定支援を大切にします
- 二. 認知症や障がいのある正しい理解により偏見や差別を生み出さず、孤立した人がつながることのできるつながり先を創造します
- 三. これからもずっと、きたひろしまを支えるソーシャルワーカーを育成します

(新沼 右文)



グループホーム

「健康であり続けていくこととは」を追究し、自分らしく暮らし続けることを継続的に支援していきます

お客様の人生の楽しみを理解し、実現

することで生活の質の充実を図ります

それぞれの生活習慣や環境、既往歴などを理解し、その時代背景を創造し支援していきます。活動的な日常生活の充実を図り、心身ともに健康に過ごすことに取り組んでいきます。

人材確保に向けて働き甲斐のある職場

環境の充実をめざします

介護負担の軽減を目的とした、介護ロボットの検討やお試しの活用の実施。また、他事業所とも連携し、在宅サービスなどの取り組みなど認知症になっても地域で暮らすこと、地域の力、思いを理解しサービスの質の向上に努めます。

健康であり続けられるように医療とも

連携し専門性の充実を図っていきます

ガイドラインやマニュアルをもとに感染対策の知識、技術、意識を高め蔓延防止に努めていきます。また、本人、家族とのACP（人生会議）を通して、それぞれがもつ人生最期の在り方について、グループホームとして継続的に取り組んでいけるよう多職種とも連携し支援していきます。（皆木 有子）



給食サービス課

給食サービス課の今までとこれから
給食の魅力

四恩園大規模改修に向け、北広島リハビリセンター障害者施設、高齢者施設の給食サービス課の統合により、調理師の人員が増加し今までよりさらに良い食事を提供出来ると思います。家庭にいる時のように食事を楽しんでも頂きたいのと、毎日の献立を華やかに、食べる喜びを実感できる食事提供が私たちの最大の魅力です。

お客様に喜んでもらえる食事

私たちが求める食事は、栄養管理を徹底することとはもちろんのこと、『食べることの喜び』『四季折々の食事』などを提供できる給食サービス課だと思っています。月一回地域サポートセンターとともに行っている地域食堂では、手作りのスイーツや幅広いメニューや旬の食材を取り入れ、お客様・ご家族・地域の方々に喜んでもらえるように今後さらに力を入れて取り組んでいきたいと思っています。

専門性の追求

調理法や切り方の工夫、食材の盛り付けなど、どう美味しくなるかを追求しています。毎日の献立は、一人一人の身体状況や嗜好性などもあり難しいところもありますが、食事の時間が楽しいと思えるようなメニューを考案、作成していきたいと考えています。四季折々の食事を提供し、季節の移り変わりを食事を通して感じ楽しんでいただくことや、行事食やイベントメニュー、地域のお祭りにも力を入れて取り組んでいきたいと思っています。（西野 聡）



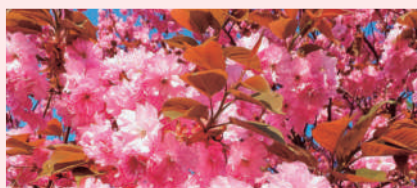
アクセスマップ



問い合わせ先：北広島リハビリセンター
TEL 011-373-1711

出店メニュー

やきとり
コロツケ
ジンギスカンうどん
たい焼き
桜もち
飲み物
等



ステージ企画

北広島リハビリセンター 更生太鼓
白樺高等養護学校 太鼓部
緑陽中学校 合唱部
ハッピージャンプ
じゃんけん大会
だいこんマンボ
ラディッシュバンド

第2回

竹山桜まつりを開催！

とき 二〇二五年五月十七日（土）

一〇：三〇～一四：〇〇

ところ 北広島リハビリセンター 桜庭園

この広報誌のアンケートにご協力をお願いします。こちらから↓



●発行者 社会福祉法人 北海長正会
●住所 〒061-1153
北広島市富ヶ岡509-31
●TEL (011)373-6655
●FAX (011)373-6611

●ホームページ <http://www.shionen.or.jp>
●E-mail tokuyo@shionen.or.jp
●編集発行 広報委員会
●編集発行責任者 理事長 三瓶 徹
●発行日 2025年5月

